

(様式第9)

宮大医医第 75号
平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

宮崎大学医学部附属病院長
高崎 眞

宮崎大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-------|
| 研修医の人数 | 34.5人 |
|--------|-------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|-----|
| 医師 | 183人 | 181人 | 318.4人 | 看護業務補助 | 11人 | 診療エックス線技師 | 0人 |
| 歯科医師 | 5人 | 14人 | 18.2人 | 理学療法士 | 3人 | 臨床検査技師 | 28人 |
| 薬剤師 | 22人 | 0人 | 22.0人 | 作業療法士 | 1人 | 衛生検査技師 | 1人 |
| 保健師 | 0人 | 0人 | 0.0人 | 視能訓練士 | 3人 | その他 | 0人 |
| 助産師 | 12人 | 0人 | 12.0人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 |
| 看護師 | 427人 | 29人 | 448.0人 | 臨床工学技士 | 5人 | 医療社会事業従事者 | 3人 |
| 准看護師 | 0人 | 2人 | 1.5人 | 栄養士 | 0人 | その他の技術員 | 5人 |
| 歯科衛生士 | 1人 | 0人 | 1.0人 | 歯科技工士 | 1人 | 事務職員 | 86人 |
| 管理栄養士 | 5人 | 0人 | 5.0人 | 診療放射線技師 | 22人 | その他の職員 | 38人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|--------|-------|--------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 518.5人 | 11.7人 | 530.2人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 676.0人 | 30.8人 | 706.8人 |
| 1日当たり平均調剤数 | | | 566.2剤 |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|--|---|--------|
| ・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・培養細胞による先天性代謝異常診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・人工中耳 | <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無 | 0人 |
| ・実物大臓器立体モデルによる手術計画 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・性腺機能不全の早期診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・焦点式高エネルギー超音波療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・SDI法による抗癌剤感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・家族性アミロイドーシスのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・三次元形状解析による顔面の形態的診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・抗癌剤感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・不整脈疾患における遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・腹腔鏡下肝切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・画像支援ナビゲーション手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・悪性腫瘍に対する粒子線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・成長障害のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・生体部分肺移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| | | |
|--|-----|---|
| ・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術 | 有・無 | 人 |
| ・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 | 有・無 | 人 |
| ・声帯内自家側頭筋膜移植術 | 有・無 | 人 |
| ・骨髄細胞移植による血管新生療法 | 有・無 | 人 |
| ・ミトコンドリア病の DNA 診断 | 有・無 | 人 |
| ・悪性黒色腫又は乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・無 | 人 |
| ・鏡視下肩峰下腔除圧術 | 有・無 | 人 |
| ・神経変性疾患の DNA 診断 | 有・無 | 人 |
| ・脊髄性筋萎縮症の DNA 診断 | 有・無 | 人 |
| ・難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 有・無 | 人 |
| ・固形がんに対する重粒子線治療 | 有・無 | 人 |
| ・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術 | 有・無 | 人 |
| ・カフェイン併用化学療法 | 有・無 | 人 |
| ・ ³¹ P 磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断 | 有・無 | 人 |
| ・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・胎児尿路・羊水腔シャント術 | 有・無 | 人 |
| ・遺伝性コプロポルフィリン症の DNA 診断 | 有・無 | 人 |
| ・固形腫瘍（神経芽腫）の RNA 診断 | 有・無 | 人 |
| ・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 | 有・無 | 人 |
| ・重症 BCG 副反応症例における遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・自家液体空素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建 | 有・無 | 人 |
| ・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術 | 有・無 | 人 |
| ・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・無 | 人 |
| ・高発癌性遺伝性皮膚疾患の DNA 診断 | 有・無 | 人 |
| ・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療 | 有・無 | 人 |
| ・Q 熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・エキシマレーザ冠動脈形成術 | 有・無 | 人 |
| ・活性化 T リンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| ・抗癌剤感受性試験 (CD - DST 法) | 有・無 | 人 |
| ・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術 | 有・無 | 人 |
| ・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療 | 有・無 | 人 |
| ・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法 | 有・無 | 人 |
| ・内視鏡下甲状腺癌手術 | 有・無 | 人 |

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| ・骨腫瘍の CT 透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・HLA 抗原不一致血縁ドナーからの CD34 陽性造血幹細胞移植 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 (CT 透視下法) | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・活性化血小板の検出 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・ケラチン病の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・隆起性皮膚繊維肉腫の遺伝子診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・末梢血幹細胞 (CD34 陽性細胞に限る。) による血管再生治療 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・末梢血単核球移植による血管再生治療 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・副甲状腺内活性型ビタミンD (アナログ) 直接注入療法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・腹腔鏡下広汎子宮全摘手術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・自己腫瘍 (組織) を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・自己腫瘍 (組織) 及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |

| 高度先進医療の種類 (歯科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|---|---------------------------------------|--------|
| ・インプラント義歯 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・顎顔面補綴 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・顎関節症の補綴学的治療 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・歯周組織再生誘導法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・光学印象採得による陶材歯冠修復法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・エックス線透視下非観血的唾石摘出術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・顎関節脱臼内視鏡下手術 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |
| ・耳鼻咽喉科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 承認 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| ・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH） | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・画像支援ナビゲーションによる膝関節再建手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・凍結保存同種組織を用いた外科治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・強度変調放射線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・胎児心超音波検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・インプラント義歯 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 人 |
| ・顎顔面補綴 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・人工中耳 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・歯周組織再生誘導法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・抗がん剤感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・腹腔鏡下肝切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・生体部分肺移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・活性化血小板の検出 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・末梢血管細胞による血管再生治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・超音波骨折治療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・眼底三次元画像解析 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 人 |
| ・CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクターピロリ除菌療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 67人 | ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 49人 |
| ・多発性硬化症 | 18人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 4人 |
| ・重症筋無力症 | 61人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 29人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 215人 | ・多系統萎縮症 | 12人 |
| ・スモン | 2人 | ・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型) | 3人 |
| ・再生不良性貧血 | 12人 | ・膿疱性乾癬 | 9人 |
| ・サルコイドーシス | 65人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 6人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 21人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 32人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 148人 | ・重症急性膵炎 | 5人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 38人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 53人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 28人 | ・混合性結合組織病 | 34人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 185人 | ・原発性免疫不全症候群 | 10人 |
| ・大動脈炎症候群 | 18人 | ・特発性間質性肺炎 | 23人 |
| ・ビュルガー病 | 12人 | ・網膜色素変性症 | 22人 |
| ・天疱瘡 | 18人 | ・プリオン病 | 3人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 28人 | ・原発性肺高血圧症 | 8人 |
| ・クローン病 | 131人 | ・神経繊維腫症 | 24人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 3人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 10人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 1人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 79人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 3人 |
| ・アミロイドーシス | 11人 | ・ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む | 3人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 88人 | ・副腎白質ジストロフィー | 1人 |
| ・ハンチントン病 | 1人 | | |

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

| | | | |
|-------------------------------------|--|-----|-----------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 月に1回程度 | | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 | 36例 | 剖検率 21.1% |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|------|-----------|----------------------------------|
| アドレノメデュリンの展開医療 | 江藤 胤尚 | 第一内科 | 5,300,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| アドレノメデュリンの抗炎症作用を利用した医薬品の開発 | 北村 和雄 | 第一内科 | 1,800,000 | 補・委 科学技術振興機構 |
| アドレノメデュリンを用いた循環器疾患の画期的治療法の開発 | 北村 和雄 | 第一内科 | 4,000,000 | 補・委 厚生労働省 厚生労働科学研究 費補助金 |
| アドレノメデュリンを利用した新しい虚血性心疾患治療法の開発 | 北村 和雄 | 第一内科 | 1,500,000 | 補・委 厚生労働省 循環器病委託研究 |
| アドレノメデュリンと関連ペプチドによる循環制御機構の解明と診断・治療学的応用のための基礎研究 | 北村 和雄 | 第一内科 | 1,900,000 | 補・委 厚生労働省 循環器病委託研究 |
| アドレノメデュリンと関連ペプチドの特徴的作用の解析と治療応用 | 加藤 丈司 | 第一内科 | 1,200,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| REACH Registryアテローム血栓性イベントリスクを持つ患者を対象とする国際前向き観察研究 | 塩見 一剛 | 第三内科 | 150,000 | 補・委 (財)日本ワックス スマン財団 |
| 難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発 | 中里 雅光 | 第三内科 | 550,000 | 補・委 国立精神・神経セ ンター |
| ペプチドーム解析を応用した脳機能調節に作用する新規神経ペプチドの探索と機能研究 | 中里 雅光 | 第三内科 | 2,600,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| COPDにおける新規生理活性ペプチドグレリンの病態生理学的意義と臨床応用の試み | 中里 雅光 | 第三内科 | 3,200,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| 運動トレーニングによる成長ホルモン分泌亢進機序とソマトポーズ抑制に関する研究 | 十枝内 厚次 | 第三内科 | 1,200,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| エネルギー代謝調節ペプチドグレリンの脂肪組織に対する作用 | 新原 琢也 | 第三内科 | 2,000,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| 摂食とエネルギー代謝調節に機能する新規消化管ペプチドの探索と機能解析 | 中里 雅光 | 第三内科 | 2,800,000 | 補・委 日本学術振興会 |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|------------|-----------|-----------|--------------------------|
| 新規消化管由来生理活性ペプチドの探索と摂食・消化管調節機構の解明 | M・S Mondal | 第三内科 | 1,500,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| βデフェンシンの気道上皮における発現誘導と感染防御に関する分子生物学的解析 | 芦谷 淳一 | 第三内科 | 1,300,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| ソマトポーズに対するグレリンの臨床応用と基盤的研究 | 中里 雅光 | 第三内科 | 4,000,000 | 補・委 厚生労働省 |
| アミロイドーシスに関する調査研究（科学研究費補助金） | 中里 雅光 | 第三内科 | 1,200,000 | 補・委 厚生労働省 |
| 成人T細胞白血病ハイリスク群検索のための新規検査法の開発 | 岡山 昭彦 | 膠原病・感染症内科 | 900,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 肝予備能把握法の確立と肝切除後残存肝機能の分子生物学的解析 | 千々岩 一男 | 第一外科 | 1,300,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 大量肝切除及び病態肝切除における肝予備能の評価と治療-胆汁酸トランスポーターの動態を中心にした解析 | 甲斐 真弘 | 第一外科 | 2,300,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 膵癌の浸潤・転移に関与する培養因子の機能解析, 癌-間質相互作用との関連 | 前原 直樹 | 第一外科 | 1,000,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 遺伝性網膜変性症の分子生物学的並びに電気生理学的研究 | 直井 信久 | 眼科 | 1,500,000 | 補・委 日本学術振興会 |
| Population baseによる周産期脳障害の分析とその治療法に関する研究 | 池ノ上 克 | 産婦人科 | 2,000,000 | 補・委 (財)日母おぎや一 献金基金 |
| 肺腫瘍に対するラジオ波焼灼凝固療法における胸膜障害に関する研究 | 中田 博 | 放射線科 | 100,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| VWF-CP遺伝子導入による、血管内ステント挿入術後の血栓動脈 | 田村 正三 | 放射線科 | 1,300,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 下肢深部静脈血栓症の予防-遺伝子導入による試み | 古小路 英二 | 放射線科 | 1,100,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|-------|-------|-----------|----------------------------|
| 局所麻酔薬の使用依存性ブロックに関する研究 | 高崎 眞弓 | 麻酔科 | 2,500,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 神経因性疼痛に関する間欠的高周波照射の鎮痛メカニズムに関する研究 | 立山 真吾 | 麻酔科 | 1,000,000 | 補・委 文部科学省 科学研究費補助金 |
| 致死的なAeromonas属細菌感染症における病原因子の生化学的遺伝子学的解析 | 松岡 博史 | ICU | 1,000,000 | 補・委 宮崎大学戦略重点 経費（研究戦略経費） |
| 複雑性局所疼痛症候群（CRPS）の診断基準作成と治療法に関する研究 | 高崎 眞弓 | 麻酔科 | 260,000 | 補・委 厚生労働省 こころの健康科学研究事業 |
| 悪性グリオーマにおける免疫制御機構の解明と自殺キメラ分子を用いた腫瘍免疫賦活療法 | 竹島 秀雄 | 脳神経外科 | 3,900,000 | 補・委 日本学術振興会 |

計 31

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------------------|--|------------|------|
| J. Biol. Chem | Functions of the cytoplasmic tails of the human receptor activity-modifying protein components of calcitonin gene-related peptide and adrenomedullin receptors | Kitamura K | 第一内科 |
| Cardiovasc Res | Adrenomedullin in mast cells of abdominal aortic aneurysm | Kitamura K | 第一内科 |
| J Hum Hypertens | Plasma adrenomedullin level and development of hypertension | Kitamura K | 第一内科 |
| Hypertension | Soluble guanylate cyclase stimulation on cardiovascular remodeling in angiotensin II-induced hypertensive rats | Kitamura K | 第一内科 |
| Biochem Biophys Res Commun | Isolation and identification of proangiotensin-12, a possible component of the renin-angiotensin system | Kitamura K | 第一内科 |
| Clin Cardiol | Adiponectin produced in coronary circulation regulates coronary flow reserve in nondiabetic patients with angiographically normal coronary arteries | Date H | 第一内科 |
| Ther Apher Dial | Leukocytapheresis for ulcerative colitis: a comparative study of anticoagulant (nafamostat mesilate vs. dalteparin sodium) for reducing clinical complications | Nishiura R | 第一内科 |
| Clin J Am Soc Nephrol | Incidence of ANCA-associated primary renal vasculitis in Miyazaki prefecture: The first population-based, retrospective, epidemiologic survey in Japan | Fujimoto S | 第一内科 |
| Nephron Exp Nephrol | Increased production of adrenomedullin in glomeruli from anti-glomerular basement membrane (GBM) glomerulonephritis rats treated with methylprednisolone | Eto T | 第一内科 |
| Pathology - Research and Practice | Different inflammatory response and oxidative stress in neointimal hyperplasia after balloon angioplasty and stent implantation in cholesterol-fed rabbits | Imamura T | 第一内科 |
| Biochem Biophys Res Commun | Isolation and identification of proangiotensin-12, a possible component of the renin-angiotensin system | Kitamura K | 第一内科 |
| J Thromb Haemost | Inhibition of 5-hydroxytryptamine _{2A} receptor prevents occlusive thrombus formation on neointima of the rabbit femoral artery | Imamura T | 第一内科 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|-------------|------|
| Eur Heart J | Increased expression of interleukin-10 in unstable plaque obtained by directional coronary atherectomy | Imamura T | 第一内科 |
| J Electron Microsc | Ultrastructural transformation of gastric parietal cells reverting from the active to the resting state of acid secretion revealed in isolated rat gastric mucosa model processed by high-pressure freezing | Sawaguchi A | 第一内科 |
| Ren Fail | Renal biopsy in elderly patients: a clinicopathological analysis | Fujimoto S | 第一内科 |
| Am J Cardiol | : Detection of von willebrand factor and tissue factor in platelets-fibrin rich coronary thrombi in acute myocardial infarction | Date H | 第一内科 |
| Arterial Stiffness | 長期のベニジピン療法により降圧を超えた動脈硬化度の改善が得られる | 北俊弘 | 第一内科 |
| 血圧 | Ca拮抗薬（ベニジピン）と動脈硬化度 | 北俊弘 | 第一内科 |
| J Thromb Haemost | Factor XI contributes to thrombus propagation on injured neointima of the rabbit iliac artery. | Kitamura K | 第一内科 |
| Am J Cardiol | Detection of von Willebrand factor and tissue factor in platelets-fibrin rich coronary thrombi in acute myocardial infarction. | Imamura T | 第一内科 |
| J Thromb Haemost | Inhibition of 5-hydroxytryptamine _{2A} receptor prevents occlusive thrombus formation on neointima of the rabbit femoral artery. | Eto T | 第一内科 |
| Int J Cancer | Alanine aminotransferase level as a predictor of hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma incidence in a community-based population in Japan | Hayashi K | 第二内科 |
| Hepatology Research | Spontaneous elimination of hepatitis C virus RNA in individuals with persistent infection in a hyperendemic area of Japan | Uto H | 第二内科 |
| Liver Transplantation | Navigator-echo-based MR provides high-resolution images and precise volumetry of swine livers without breath holding or injection of contrast media | Kim I | 第二内科 |
| International Journal of Molecular Medicine | Repeated intravenous injection of recombinant human hepatocyte growth factor ameliorates liver cirrhosis but causes albuminuria in rats | Kusumoto K | 第二内科 |